

社会福祉法人純正福祉会 大和保育所 29年度事業報告書

1. 保育実績 (延べ人数)

	計画	実績	増減
保 育 日 数	295 日	295 日	—
平均保育人数	130 名	137 名	✕7 名
利用児童総数	38,350 名	40,415 名	✕2,065 名
対定員充足率	100%	105%	—
延長保育人数	7,000 名	7,360 名	✕360 名
日々延長保育人数	名	内 538 名	—
一時保育数	100 名	101 名	✕1 名
公開保育利用者人数		44 名	—

○平成 29 年度保育状況 (月数の延べ人数)

年齢 /月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0 歳児	11	12	13	14	15	15	15	15	16	16	16	16	174
1 歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
2 歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3 歳児	26	26	26	26	25	24	24	24	24	24	24	24	297
4 歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	236
5 歳児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
合計	135	136	137	138	138	137	137	137	137	137	137	137	1643

2. 保育内容について

(1) 生活を中心とした一人一人の育ちを大切にしています。

長い保育時間のなかにあって、子どもが不安やストレスを抱えることなく、子どもの表情や行為、声の調子、思いなど未熟な表現に保育者は応え、寄り添いながら「子どもは一人の尊重すべき人格者」として、子どもなりに自分を発達させようとする力と可能性を引き出すように援助しています。

そのために、保育の方法として、特定の保育士の愛情深いかかわりが基本的な信頼関係形成を促すということに基づき、また、保育者も一人一人の子どもをより理解できるために3歳未満児は、保育者の育児担当制を取り入れています。

3歳以上児は3,4,5歳児の異年齢保育を取り入れている。これは、クラスを大きな家族としてとらえ、子ども自身が刺激し合って、仲間を尊敬したり、思いやったりすることや年長児は年少児を助けることによって自信が湧き意欲へとつながり、年少児は年長児のすることを模倣したり、身近な人から教えてもらうことによって早く大きくなりたいという努力、意欲をもつようになるといった保育効果を考慮しているからです。

このような日々の取り組みのなかで、家庭を含めた24時間の日課を考慮し、ていねいに育児にかかわり、安定した生活を促すようにしています。

(2) 本物に出会い、触れることを通して多様な経験をし、成長、発達を促しています。

風、水、土、雨、植物、絵画、音楽など本物に触れ、五感を使って様々な体験をしながら運動機能の発達や知的好奇心、思考力、認識力、創造性を育てています。また、様々な体験のなかで、子どもの成長に重要な達成感、挫折感、葛藤、充足感などの感情を味わえるようにしています。

- ◆具体的事例
- ①食器は陶器を使用し、食材はより自然食品、おやつは手作りにしている。
 - ②見る環境として油絵、版画、童の木像などを園内に配置している。
 - ③『環境教育』として、〈子どもから親への発信〉〈本物に触れる〉をテーマに自然事象・社会事象などを観察し、五感を通して知る楽しさを学ぶことや清掃活動などの体験を通して、家庭での話題となり身近な地域の環境美化やエコ活動に関心を持たせ、豊かな心情を持つ子どもの育成を図っている。

(3) 『応答的保育』を実践し、子どもが自ら考え、行動できるように援助しています。

『応答的保育』とは、子どもの発達観を心理学者J・ピアジェやJ・M・ハントの流れをくむ人間発達の相互作用説である認知発達心理学に基づくものであります。これは、子どもは人間を含む環境とのやりとりで成長・発達するという考えを基盤にし、人間はもちろん子どもを含めて、外から賞や罰を与えられなくとも、自分のもっている能力や発達の

レベルより「少し程度の高い」あるいは「少し複雑な」環境や刺激に接するとき、自ら興味を持って行動するというものである。

つまり、『応答的保育』は子どもの教育、子どもの保育において環境からの応答性を重視する保育です。その保育は、子どもの遊びのなかで、おもちゃや物の応答性をどのように考え、準備するか、また、保育士や保護者が「ことばによる応答」でどのように対応するか、さらには「心の応答」によって共感的な心情をどのように作りだしていくかといったことから構成されています。

『応答的保育』を行うことによって、子どもは言葉をはじめとした知的な能力、自発性、意欲、他者への信頼感が培われていくことを目的としています。

- ◆具体的事例
- ①子どもが主体的に生きること。一人一人がやりたい活動に指示や命令など条件づけられた生活ではなく、十分に子どもが自己発揮して主体的に取り組むことができる。
 - ②適切なズレをもった物理的環境の準備。
 - ③遊びなどの活動に必要なものがいつも一定のところに置いてあり、繰り返し出来る。
 - ④人的環境のなかで大きな役割を果たす異年齢保育の実施。
 - ⑤保育者が目立たない。

3. 園行事等について

○別紙参照 《大和保育所 平成29年度事業（行事）報告》

4. 施設整備について

- 固定資産物品
- 廃棄—MF リトルスプリングこうま
 - 購入—ソフトウェア 給食計算ソフト「わんぱくランチ」
 - ガス給湯器（ノーリツ GQ-C2434WZ-C）

5. 平成29年度 苦情解決結果について

※ 特に苦情・要望はありませんでした。

6. その他について

(1) 安全管理

- 防災訓練 毎月1回避難訓練(火災・竜巻・不審者・地震)、消火、通報訓練を実施しました。
- 健康管理 園児・職員の定期診断及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。健康管理には最善の注意を払い、伝染病については最善の処置を行ってきました。
- 衛生管理 危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行いました。

(2) 地域交流

- ・ 毎年参加している大和地区の夏祭りに5歳児親子で参加しました。
- ・ 園児の祖父母の保育参観、交流会を実施しました。
- ・ 地域公開保育を毎月10、20日に行い、地域交流を行いました。

総参加人数 延 大人43人、子ども44人

・ 交流会 全乳児園児参加

(3) 実習生・ボランティア

- ・ 大学、短期大学生の受入校 (4校) 15名
- ・ 大学、短期大学生見学実習 (2校) 26名
- ・ 大学・短期大学生自主実習 1名
- ・ 専門学校生の受入校 (2校) 5名
- ・ 高校生の受入校 (1校) 15名
- ・ 中学生職場体験学習(4校) 19名
- ・ 他保育園より見学者(4園) 10名
- ・ ボランティア

毎月1回絵本の読み聞かせ 久富百合子氏
精華女子短期大学生よりオペレッタ上演
環境講和

- ① 福岡県地球温暖化防止活動推進センター
まほろば自然学校運営 岩熊志保先生「昆虫の棲む世界」
- ② 博多工業高校教師 金丸耕一先生「電気の話し」
- ③ 春日市ゴミ減量課職員「ゴミの問題とリサイクル」
- ④ 春日警察署交通安全課「信号機の見方と道路の歩き方」

平成29年度事業（行事）報告

社会福祉法人純正福祉会 大和保育所

1、特別保育事業

(1) 延長保育促進事業 18時から19時

(2) 保育所地域活動事業

異年齢交流事業 毎月2回あそび会 利用者数 大人43人 子ども44人

世代間交流事業 中学生体験学習受け入れ（4校）19人

(3) 一時保育事業 受け入れ人数 延101人

2、園行事

4月 3日（月）第46回入園のつどい

11日（火）新中学生同窓会

21日（金）内科検診 嘱託医：上田内科胃腸科医院

23日（土）親子遠足 場所：白水大池公園（雨天の為11月11日（土）に延期）

5月 24日（木）歯科検診 嘱託医：松本歯科クリニック

25日（木）味噌作り 講師：あいわ農園松尾緑氏 5歳児参加

6月 5日（月）～9日（金）保育参観週間

5日（月）クラス懇談会（1組）

6日（火）クラス懇談会（2組）

7日（水）クラス懇談会（そら組）

8日（木）クラス懇談会（はな組）

9日（金）クラス懇談会（たんぼぼ組）

14日（水）わらべうた遊び 講師：児玉敦子先生 3、4、5歳児参加

28日（水）幼児安全法講習 日本赤十字社福岡県支部 3園職員参加

29日（木）環境教育 福岡県エコ出前講座 テーマ「昆虫の棲む自然界」

講師：まほろば自然学校代表 岩熊志保氏 5歳児参加

30日（金）春日市療育訓練施設くれよんクラブから子どもの観察と支援会議

7月 26日（水）光町学童保育お化け屋敷招待 場所：光町児童館 5歳児参加

27日（木）春日市ALT外国人英会話講師派遣教室 4・5歳児参加

28日（金）春日市支援センター親と子どもの支援会議

8月 5日（土）大和町地区夏まつり 5歳児参加

24日（木）春日市療育訓練施設くれよんクラブから子どもの観察と支援会議

9月 5日（火）わらべうた遊び 講師：児玉敦子先生 3、4、5歳児参加

14日（木）春日市子育て支援センターから親と子どもの支援会議

- 15日(金) 春日警察署より依頼「秋の交通安全県民運動推進キャンペーン」
式典参加 5歳児マーチング 場所：ザ・モール春日店駐車場にて
- 22日(金) 敬老の日 園児祖父母保育参観 参加者45名
- 10月 7日(土) 第46回なかよし運動会 場所：大谷小学校運動場
- 30日(月) 内科検診 嘱託医：上田内科胃腸科医院
- 11月 1日(水) 歯科検診 嘱託医：松本歯科クリニック
精華女子短期大学よりオペレッタ上演 3.4.5歳児参加
- 2日(木) 柿狩り遠足 場所：うきは市耳納の里・平塚川添遺跡公園 5歳児参加
- 8日(水) わらべうた遊び 講師：児玉敦子先生 3, 4, 5歳児参加
- 11日(土) 親子遠足 場所：白水大池公園
- 12月 5日(火) 焼き芋会 5歳児参加
- 11日(月) 環境教育 テーマ「電気について学ぶ」 5歳児参加
講師：博多工業高校 教諭 金丸耕一氏
- 14日(木) 春日市子育て支援センターから親と子どもの支援会議
- 25日(月) クリスマス会
- 1月 12日(金) つどいやまと会リハーサル 場所：ふれあい文化センター
- 13日(土) 第16回つどいやまと会 場所：ふれあい文化センター
- 2月 2日(金) 節分
- 14日(水) わらべうた遊び 講師：児玉敦子先生 3, 4, 5歳児参加
環境教育 テーマ「ゴミ減量とリサイクル」
講師：春日市環境課 梅崎 亮太氏 他1名
- 20日(火) 春日市社会福祉協議会より「プロレスラーと遊ぼう」
九州プロレス 選手：佐々木日田丸氏
- 23日(金) 光町児童館より新一年生へ 5歳児参加
- 3月 3日(土) 第46回大和保育所卒園式 平成30年度在園児入所説明会
講演会 テーマ「子どもを笑顔にする魔法のうた」 講師：児玉敦子氏
- 6日(火) 交通安全教室 春日警察署より指導 5歳児参加
- 10日(土) 平成30年度新入園児入所説明会
- 13日(木) 卒園遠足 太宰府天満宮・九州博物館へ 5歳児参加
- 14日(金) クッキー作り (5歳児)
- 18日(祝) 社会福祉法人純正福祉会4園合同研修会
テーマ「学びを支える環境づくり」
講師：東洋大学 ライフデザイン学部 准教授 高山静子氏
テーマ「言葉をはっきり口にする：保育の安全の核」
講師：NPO法人保育の安全研究・教育センター 掛札逸美氏
- 31日(土) 保育終了

※春日市運動発達促進事業参加～年2回運動発達測定 対象児：4.5歳児

平成29年度 社会福祉法人純正福祉園内研修

大和保育所

研修名・日時・会場	参加者数	課題もしくは内容	講師
乳児園内研修 29年4月27日 青葉はるまち保育園	1名	・子どもの日課とクラスの日課 ・育児における大人の連携	中島侑子
乳児園内研修 29年5月25日 青葉保育園	1名	・新人保育士に一番伝えたいことは ・相手の立場にどれくらいたてるか	中島侑子
乳児園内研修 29年5月30日 青葉桐の花保育園	1名	・三項関係 ・子どもが泣く理由 ・子どもの遊びに対する大人の関わり	中島侑子
幼児公開保育 29年5月31日 大和保育所	5名	・基本的な生活習慣や丁寧な振る舞いを身に付ける ・植物や昆虫の飼育を通して、生命の大切さを感じる ・鉄棒や平均台を使い、支持力や平衡感覚を養う	
乳児わらべうた研修 29年6月7日 青葉桐の花保育園	10名	・実技研修 「おんまさんのおけいこ」「こーぶろ」 「ぎっこばっこひけば」「ととけっこー」	児玉敦子
乳児園内研修 29年6月20日 大和保育所	14名	・子どもの発達にあった遊び・子どもが集中して遊べる環境	中島侑子
幼児わらべうた研修 29年6月21日 青葉桐の花保育園	4名	・実技研修 「すいかばたけに」「いもむし」 「ゆうびんはいたつ」「いちばちとまった」	児玉敦子
乳児園内研修 29年7月6日 青葉はるまち保育園	1名	・子どもの行為や仕草言葉に注意し肯定的に関わる ・姿勢維持、転換などの筋力に発達を促す	中島侑子
幼児公開保育 29年7月12日 青葉保育園	1名	・衣服の着脱について知らせ、丁寧に出来るようにする ・静かな雰囲気を感じながら線上歩行を行う	
幼児公開保育 29年7月24日 青葉はるまち保育園	1名		
乳児園内研修 29年8月24日 青葉桐の花保育園	1名		
幼児公開保育 29年8月31日 青葉桐の花保育園	1名	・ドアの開閉の仕方を知り、丁寧に出来るようにする ・絵具を使って表現することを楽しむ ・汗をかけた時の対処法を考え、健康な体をつくる	
乳児園内研修 29年9月13日 大和保育所	14名	・子どもの遊びの条件(環境・時間・道具)について ・大人の連携	中島侑子
乳児園内研修 29年9月21日 青葉保育園	1名	・未経験保育士に対するアプローチの方法 ・客観点条件の準備について	中島侑子
乳児わらべうた研修 29年11月1日 青葉桐の花保育園	9名	・実技研修 「しろきやの」「おさらになまごに」 「うしぬばんそれぞれ」「ひとりふったり」	児玉敦子
幼児公開保育 29年11月8日 大和保育所	4名	・世界の文化に興味を持つ(民族衣装について) ・動きの一つ一つを丁寧にし、落ち着いた気持ちで生活する	
幼児わらべうた研修 29年11月15日 青葉桐の花保育園	4名	・実技研修 「こーもりこい」「ほおずきばあさん」 「りょうしさん」「ねこがごふくやに」	児玉敦子
乳児園内研修 29年11月22日 青葉桐の花保育園	1名	・三項関係(大人と子どもと物又は大人) ・観察の視点と分析	中島侑子
乳児園内研修 30年1月18日 青葉保育園	1名	・子どもを主人公にした援助 ・仲間関係の形成の段階	中島侑子
乳児園内研修 30年1月25日 大和保育所	14名	遊びの観察(子どもの遊びの主体性)育児の観察(子どもの能動性)	中島侑子
幼児公開保育 30年1月30日 青葉保育園	1名	・資源の大切さやごみの減量について考える ・私達が住んでいる那珂川町について知り、暮らしている土地に親しみが 持てるようにする。	
乳児園内研修 30年2月13日 青葉桐の花保育園	2名	・乳児の発達	中島侑子
幼児公開保育 30年2月15日 青葉はるまち保育園	1名	・食材に含まれている栄養について知り、食への関心を高める	
乳児園内研修 30年2月16日 青葉はるまち保育園	4名	・一人一人が大切に育てられるために	中島侑子
幼児公開保育 30年2月22日 青葉桐の花保育園	1名	・園庭にある木々の冬芽に興味を持つ ・福岡県の位置や特産品、建物について知る ・平昌五輪について知り、関心を高める	
四園合同研修 30年3月18日 ソラリア西鉄ホテル	33名	・「学びを支える環境づくり」 ・「言葉をはっきり口にする:保育の安全と核」	高山静子 掛札逸美

※園長・主任・中堅保育士勉強会を年4回行っている。